

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト

応募の手引き

はじめに

地球温暖化や資源・エネルギー問題など様々な課題が増大する中、子ども達一人ひとりが環境問題について学習し、積極的にリサイクル活動に取り組むことが求められます。

その第一歩として、身近にある「紙」のリサイクルから資源の循環を考えてみませんか。

使い終わった紙がどのようにリサイクルされているのか、リサイクルの仕組みを知ることによって環境問題への理解が深まると思います。

この応募の手引きを通して、“紙リサイクル”の理解を深め、作品づくりへのポイントをおさえながら、環境学習の1つとして役立てて頂ければ幸いです。

この応募の手引きでわかること

紙リサイクルについて

紙リサイクルの仕組みや古紙の種類、生まれ変わる紙製品など
図解を見ながら学ぶことができます。

作品づくりの注意点

リサイクルの表現方法について
気を付けてほしいこと、書いては
いけないことに注目しています。

良い作例

実際に受賞した作品を見ながら
評価が良かった点を見てみましょう。

良くない作例

良くない作例では、審査の対象外になる
ポイントをおさえています。

紙リサイクル促進大使
「カミリィ」ちゃんと
「カミリィママ」と一緒に
学習してみましょう！



目次

*項目をクリックすると、各ページへアクセスできます。

紙リサイクルについて

紙リサイクルとは？	3
紙リサイクルの仕組み	4
「古紙」と「生まれ変わる紙製品」の種類	5
紙リサイクルに関するマークの種類	6
「紙リサイクル」と「持続可能な社会」のつながり	7

作品づくりの注意点

書いて良いこと、いけないこと	8～10
----------------	------

良い作例

受賞作品と評価 作文編	11～15
作文づくりのポイント	16
受賞作品と評価 ポスター編	17～25
ポスターづくりのポイント	26

良くない作例

良くない作例 作文編	27・28
良くない作例 ポスター編	29・30

応募にむけて	31
--------	----

参考資料 審査基準	32
-----------	----

紙リサイクルとは？

“紙リサイクル”とは、
いらなくなった段ボールや紙箱、読み終わった本や新聞を
回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

リサイクルの役割



注目

本コンテストのテーマは、
紙の「リサイクル」です。
「リデュース」と「リユース」は
当コンテストでは取り上げない
ため、**審査の対象外**になります。

使い終わったものを
資源に戻して利用すること

リサイクル
Recycle
再資源化

コンテストでは
リサイクルに
注目しているよ



リデュース
Reduce
ごみを少なく
する

なるべく
ごみを出さないこと

スリーアール
3R

リユース
Reuse
再使用

捨てずに
繰り返し使うこと

メモ

限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）を
つくろうとする活動の1つである **リサイクル** の他に、
リデュース、**リユース** といったごみを削減する方法もあり、
この「R」で始まる3つの活動を合わせて **スリーアール** 「**3R**」 といいます。

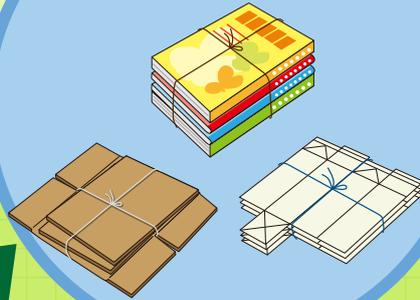
紙リサイクルの仕組み

どのように紙がリサイクルされているのか、仕組みを見てみましょう

紙の再資源化を
きちんと理解して、
紙リサイクルの輪に
参加しましょう

古紙は、種類ごとに
違う用途の紙に再生
されるため、分けて
回収に出します

しっかり分けて
回収に出す



古紙を利用した製品を
選んで使う



古紙はさまざまな人の手
を経て再生される



紙リサイクルされた製品は
身近なところにたくさんあります
探してみましょう

回収された古紙は
古紙問屋でまとめられ、
製紙工場に運ばれ再生されます

メモ

グリーンマークを探してみよう！



グリーンマーク

古紙を原料に利用した製品に
ついていきます。
ノートやトイレットペーパーなど
身近なものから見つけてみよう！

「古紙」と「生まれ変わる紙製品」の種類を理解しよう

古紙の種類と紙リサイクルで生まれ変わる紙製品



※雑がみ…紙箱、紙袋、プリント、はがきなど
当センターでは「雑紙」ではなく、「雑がみ」と表現しています。

リサイクルできない紙の一例



紙の種類ごとに
しっかり分別することが
とても大切だよ。



自分たちが住んでいる
地域の古紙の分別区分を
調べてみよう！

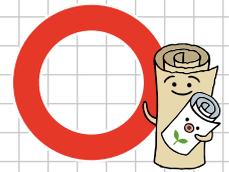


ポスター作品にマークを描く場合は、 マークの種類を知ろう

描いていいマーク

ポスター作品に“紙リサイクル”に関するマークを描く場合は、

①～⑤のマークを描いてください。



① グリーンマーク

古紙を原料に利用した製品についています。



② 段ボールのリサイクルマーク

リサイクルできる段ボールについています。



③ 紙パック識別マーク

アルミのない紙パックについています。



④ 牛乳パック再利用マーク

使用済みの牛乳パックを原料として
使用した商品についています。



⑤ 再生紙使用マーク

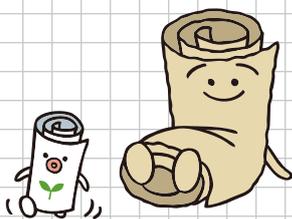
古紙を表示の割合使った再生紙について
います。



「紙リサイクル」と「持続可能な社会」のつながり

紙リサイクルは、資源の有効活用や森林資源の適切な利用につながっており、持続可能な社会に大きく貢献する行動です。

古紙の分別やリサイクルされた製品を使う事など



皆さんの身のまわりの小さな活動が持続可能な社会につながっているよ！



持続可能な社会 とは

持続可能な社会は健全で恵み豊かな環境を通じ、将来にわたって一人ひとりが幸せを実感できる社会のことです。

この社会を実現するために「SDGs」を掲げて、一人ひとり実践することが大切です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs (エスディージーズ) とは

サステナブル Sustainable ▶ 持続可能な

デベロップメント Development ▶ 開発

ゴールズ Goals ▶ 目標

「紙リサイクルと持続可能な社会づくり」をテーマに選んだときに、気をつけてほしいこと

紙リサイクルを行うことは資源の有効活用や森林資源の適切な利用に繋がっています。古紙の分別やリサイクルされた製品を使用するといった身近な行動が、持続可能な社会に貢献していることを意識して作品を制作してください。

本コンテストは「紙リサイクル」をテーマとしたコンテストであり、「持続可能な社会」や「SDGs」について調べたことだけをまとめた作品は審査の対象外となる可能性があります。
具体的な紙リサイクル活動や体験に基づいた作品を制作してください。

ポスターを描く時に SDGs のロゴやマークを使う場合は主題にならないようにしましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs を主題とした作品にならないように気をつけましょう

作品づくりの注意点

“紙リサイクル”の仕組みや、リサイクルできる紙の種類などをしっかり理解して作品づくりに取りかかりましょう。テーマがずれてしまっているため、せっかくの応募作品が審査の対象外となってしまうことがあります。ここからは、コンテストの作品づくりに向けた注意点をまとめています。紙のこと、リサイクルのことを正しく理解して取り組みましょう！



紙リサイクルのことをしっかり理解しよう

良い例

- ・私の家では、使い終わった紙を集める箱を置いて古紙回収に出している
- ・リサイクルに出した紙はどうなるか調べた

紙リサイクルについて
取り上げているので OK



悪い例

- ・紙箱を筆箱にして使っている
- ・牛乳パックを洗ってまな板にしている
- ・新聞紙を雑巾代わりに使う

これらはリサイクルではなく
リユースになってしまいます



「リサイクル」は「捨てること」ではないよ！

「かみ」と「ごみ」を
混同しないように
気をつけよう

書き方や表現によって審査の対象外となってしまう場合があります。下書きの時に見直しましょう。



リサイクルされる表現

- 古紙 ・ 資源 ・ 収集所に出す

リサイクルされない表現

- × 紙ごみ ・ 資源ごみ ・ ごみ
・ ごみに出す ・ 捨てる

！ 注目！

リサイクルできる紙は **資源** です。

ごみではない ため、**ごみを捨てる**、**ごみ捨て場に出す** など、リサイクルされない表現をすると、審査の対象外となる場合があります。リサイクルする様子を表現するときは、上にあるキーワードの使い方に気をつけましょう。

※自治体によっては「紙ごみ」、「資源ごみ」と表現している場合がありますが、当センターでは「ごみ」といった表現は使っていません。よって、本コンテストでも表現しないようにしてください。

作品づくりの注意点

紙の種類に気をつけて！

紙の種類によって **リサイクルできない紙** があります。
作品の中に取り上げる時にも、リサイクル **できる紙** と **できない紙** を
混同しないように気をつけましょう。

リサイクルできる紙



新聞 雑誌

雑がみ

段ボール 紙パック

リサイクルできない紙



洗剤の箱やにおいのついた紙

フィルム付き封筒 レシート 紙コップ

金銀の光る紙 写真 …など

また、**古紙** の種類と、リサイクルをして **生まれ変わる紙製品** の種類も
間違えないようにしっかり見直しましょう。

良い例



古紙回収に出した段ボールが、
また段ボールに生まれ変わった

悪い例



新聞紙は
トイレトペーパーになる

描いてはいけないマーク

“紙リサイクル”と異なるマークは描かないでください。

描いていけないマーク

これらは、
紙リサイクルとは
異なるため
描かないでください



描いていいマーク



グリーンマーク



ダンボール



紙パック



Rマーク

紙リサイクルに
関するマークです



古紙/パルプ配合率80%再生紙を使用



紙製容器包装識別マークについて



このマークは、商品を入れる容器や包装が主に
紙製であることを示したマークです。

本コンテストの作品には使用しないでください。

作品づくりの注意点

「森を守ること」はリサイクルではありません

紙リサイクルの目的は、古紙を回収して資源に戻し、新たな紙の原料に利用することです。応募作品の中に「紙リサイクルをすることで森や木を守る、森林破壊を防ぐ」といった内容の作品が見られます。

本コンテストは「森林保護について」ではなく、「紙リサイクル」をテーマとしています。しっかり再認識をして、目的がずれてしまわないように気をつけてください。

紙の無駄使いは森林破壊になるので、紙リサイクルをしよう

紙リサイクルの目的は「紙をごみにすることを防ぐ」ことであり、「森林破壊を防ぐ」ことではありません。

森を守るとは、地球温暖化防止となるので紙リサイクルをしよう

「紙リサイクルは森を守ること」として関連づけて書かれていると、審査の対象外となる場合があります。

紙を作るために、木々を伐採することは森林破壊に繋がる

紙の原料として、一部利用している木材（パルプ）は端材、もしくは廃材を使用しています。紙を作るために森林を不必要に伐採しているわけではありません。

「自分が考えたこと」を作品にしよう

「紙リサイクル」「紙のリサイクル」等と検索して調べた内容、インターネットに出ている内容（説明や事例）をそのまま書き写したような内容のものは、審査の対象外になります。必ず、児童・生徒自身が考えた作品を応募してください。

また、共同作品や合作も審査の対象外になります。自分自身が「紙リサイクル」について考えたこと、思いついたことを作品にしましょう。

テーマがなかなか決まらないときは

以下のような、紙リサイクルの課題の解決策について提案する内容もテーマとして考えられます。

リサイクルできる紙がごみとして捨てられないようにするためには？

リサイクルできない紙が古紙に混ざらないようにするためには？

木材（パルプ）よりも古紙を原料にした紙製品を使ってもらうためには？

古紙回収活動（集団回収活動）を継続していくためには？

〇〇するために、
〇〇したらどうかな？

思いついた
アイデアを
書いてみよう！





文部科学大臣賞 2023年度 受賞作品

調べたことを簡略的にまとめ、自分が感じたこと、思いついたことを投げかけることで、次の場面への繋がりができています。

『雑がみ』に興味を持ったきっかけと対比した事実が、このあとどうなるか読み手を引き込む書き方をしています。



動き出そう。その先へ。

小学四年生

初めて『雑がみ』という言葉を知ったのは四年前。リサイクルできる古紙は段ボールや紙パックなど大人が使う紙ばかりだと思っていた私にとって、**子供が接することの多い雑がみがリサイクルできるという事実はわくわくしたものだ**。しかし雑がみの大半が家庭ごみとして捨てられていることを知り、がく然とした。まずは身近なところからと、家で雑がみ袋を作ってリサイクルに取り組んだところ、家庭ごみの量も半分ほどに減った。**『我が家だけでは不はずだ。』**

この思いが私を大きく動かした。まずは住んでいる地域の雑がみリサイクルについて調べてみた。すると、私の住む北九州市は町内会やスーパーのリサイクルボックスを利用して雑がみの回収を行っているだけで、行政回収を行っていない自治体だと分かった。市民の意識と行動力にまかされた、何ともたよりない方法だ。また周囲には、段ボールや新聞紙をリサイクルしている人でも、雑がみという言葉自体を知らない人も多くいた。

どのようにしたら、雑がみのリサイクルがすすむのだろう。ふと、プラ袋有料化の時の新聞記事を思い出した。コンビニでレジ袋の代わりに指定ごみ袋を販売し、余計なプラごみを出さない取り組みだ。また、雑がみの指定回収袋を導入している自治体があることも知った。北九州市も**雑がみ回収袋を導入しレジ袋の代わりに販売す**

ば、市民が雑がみを知り、リサイクルも進むのではないだろうか。

私は『理想の雑がみ回収袋』を考え始めた。ポイントは二つ。まずは生活の中になじむこと。シンプルでデザインで、自立するとより良い。大きさも重要だ。小さすぎてもつぶした箱が入らないし、大きすぎても重くなる。二つ目の工夫はプライバシーへの配慮だ。個人情報が入るからちぎってごみ箱に入れていくという声もきいたからだ。家庭から出る雑がみは生活の様子や個人情報を含む。そこで私の回収袋ではミシン目を作り、上部を重ね合わせることで、中身が見えないように工夫した。こうして考えた理想の回収袋、それに北九州市の雑がみ回収の現状や周囲の人に聞いた意見などを加えた資料を作った私は『北九州の雑がみ回収に関する指定雑がみ回収袋導入の提案』として市役所に持ち込んだ。

その半年後…。市は『小学生からのアイデアを形にした』として雑がみ回収啓発イベントを発表。小学生が家で集めた雑がみを、再生紙から作ったトレットペーパーと交換する取り組みを行った。二日間で約一トンが集まり『雑がみ最前線』にいる子どもたちが紙リサイクルについて知るきっかけとなった。

知ること。次に行動。小さな行動が大きな動きの引き金になる事もある。身近な所からコツコツ、リサイクルと同じだ。動き出そう。より良い未来を作るため、まずは自分から。

自分が起こした行動でどういった結果になったか、また、自分が感じたこと、意識したいことで締めくくすることで、作文全体の印象を強められています。

実際に使うことを想定した『理想の雑がみ回収袋』を考え、市役所に提案した行動力が高く評価されました。

最優秀
作品

文部科学大臣賞 2022年度 受賞作品



気になったことを調べ、段ボールの役割やリサイクルの取り組みを正しく理解しています。日本の回収率の高さを「紙リサイクル優等生」と表現し、作文のテーマを確立しています。

今起きている出来事から書き始めていることで、読む人の気持ちを引きつけています。

みんなで目指そう！紙リサイクル優等生！

小学三年生

コロナかももう三年。インターネットでの買い物が多くなり、家に段ボールがふえた。それをまとめてリサイクルに出すのは、私の役わり。段ボールにふれる機会もふえた。

ある日、ほとんどの箱に見たことのない同じマークがついていることに気がついた。広げた箱のまわりを矢印が一周している。調べてみると、これは段ボールのリサイクルマーク。なんと世界共通のマークだ。あらためて見ると、たしかに海外から届いた段ボールにも同じシンボルマークがついていた。段ボールは段ボールに生まれ変わる。95%以上が回収され、原料の90%以上は古紙だ。かぎられた資源をむだにしない、まさにリサイクルの優等生。このシンボルマークは世界が一丸となってリサイクルに取り組んでいる証なのだ。リサイクルできる紙は段ボールだけではない。新聞紙、雑誌、雑がみ、紙パックなど、これらは全て「古紙」と呼ばれる資源だ。古紙回収率を調べると、世界の平均が60%ほどなのに対し、日本は80%以上とひ常に高い。また古紙利用率も世界平均を上回っている。日本はまさに紙リサイクル優等生だったのだ。

この紙リサイクル優等国である日本の中で、さらに私にできることは何だろう。去年、自分のまわりの人50人い上からアンケートをとった。その結果、紙リサ

イクルの知しきはあっても実際の行動にうつせていない人が多かった。リサイクルの仕組みや知しきがあるのに、正しく使わなければもったいない。それならばリサイクルを実際にそして簡単にできるような仕組みがあるとうい。ではわが家ではどうだろう。紙リサイクルのために専用の置き場があるのは、新聞紙や雑誌、紙パック、段ボールだ。なんと雑がみだけ専用の置き場がない。そこで「雑がみ入れ」を作った。大きめの紙ぶくろを用意。貴重な資源をうっかりごみにしてしまわないよう、ぶくろはごみ箱の近くに置く。すると一週間もたないうちに雑がみ入れはいっぱい。そういえば、雑がみの6わりがもえるごみとして出されていると聞いたことがある。若い人ほどごみとしてすてているとも。母に聞くと、たしかに雑がみ入れを作ってからわが家の家庭ごみの量もへったらしい。簡単な工夫でこんなにもかわるのだ。今までいかに多くの資源をごみにしてしまっていたのかと反省した。考えてみると、コピー用紙やおかしの箱など私たちが子どもは雑がみと接することが多い。私たち若い世代が雑がみを資源ととらえることが、より紙リサイクルをすすめるカギなのかもしれない。学校でも雑がみ入れを作ったらどうか。きつとたくさん集まるはずだ。

一人一人が紙リサイクルを理解し、協力して、行動しよう。この紙リサイクル優等国の日本でさらに力を合わせよう！みんなで目指そう！紙リサイクル優等生！

自分が感じたこと、調べたこと、実践したことを踏まえて、テーマにしている「紙リサイクル優等生」でしめくり、伝えたいことがわかりやすくまとめた作品になっています。

自分ができるとは何か、まわりの人の行動を調べ、どのような工夫で、もっと紙リサイクルに繋がるかアイデアと実践例を書いていることと、これからのための考えもまとめられ、高く評価されました。

最優秀
作品

文部科学大臣賞 2021年度 受賞作品



より多くの人に参加してもらうためのアイデアを考え、実践した様子をしっかりとまとめ、協力している人たちも意識し始めてきている様子が伺えます。

今までに実践してきた活動内容ときっかけ、活動の中で感じたことがわかりやすく書かれています。

リサイクルで仲間の輪

中学二年生

「リサイクルのために四月から回収した紙が六百四十キロになったよ。」

職場から帰ってきた父はそう言って、ダンボール箱を姉と私に見せた。六百四十キロの実感がわからない私達に父は「この箱にコピー用紙がいっぱい入って二十キロだから、六百四十キロはこの箱三十二箱だよ。」と告げた。私はすごい量だなと驚くと共にここまでの活動を思い出していた。

去年、私と姉は市の広報誌でリサイクルの取り組みについて調べ、自分達にできる方法を考え、実践してみた。「リサイクルできる紙はお宝」を合い言葉に、学校から配布されたプリントは個人情報を取り取り、菓子箱はきれいにたたんで仕分けし、たまるときに収集所に運んだ。家庭での燃えるごみが減ったと母は喜び、私もずっしりと重い「雑紙」を運ぶたびに「地球に優しい活動」を実感できうれしくなった。

この活動をもっと多くの人に知ってもらい、一緒に活動したいと姉が父の職場で行うことを提案した。父は職場の上司と相談し、紙資源の回収を始めた。「どうすれば多くの人に参加してもらえるのか」と考え、私達はポスターを作成し、父の職場に貼ってもらった。「菓子箱をリサイクル、十歩動けばごみから資源へ」このポスターを見て、ゴミ箱に入れていた菓子箱をリサイクル

ボックスに運んでくれる人や家庭から様々な「雑紙」を持ってくる人も増えたそうだ。また、父に「この紙もリサイクルでいいですか。」と、聞く人もいて、一緒に活動してくれる人が増えていることが実感でき、「リサイクルの輪」がどんどん広がるのがとてもうれしく、自分への励みとなった。

ある日、父がこんな話をした。いつも家庭から「雑紙」を持ってくる女性が「私が持ってきた紙を見られると、私のプライバシーが丸見えですよね。」と話していたと…。私は、「あっ」と思った。私達が用意した雑紙の回収ボックスは入れやすく、取り出しやすいようにとふたのない大きな袋だったのだ。持ってきてくれる人の気持ちに寄りそった方法ではなかったと反省し、姉と相談してふたがあり、中身が見えないようにリサイクルボックスを工夫してみた。

これらの経験から、多くの人と一緒に活動するためには相手の立場に立って気持ちを考えたり、自分から積極的に動いて声掛けすることが大切だと思った。今、姉と一緒に紙資源のリサイクルをする必要性や六百四十キロもの資源が集まったことと、そのことに感謝する気持ちをまとめたパンフレットを作成している。このパンフレットを多くの人が見て、リサイクルの必要性や活動の充実感や楽しさを知ってもらいたいと思う。そして、一緒に活動する仲間の輪をもっと広げていきたいと考えている。

終盤では、活動を通して感じたこと、実践した結果がまとめられています。パンフレットを作成して、今後も活動が続く事、多くの人に参加してくれることを願っている様子が高く評価されました。

活動を続けていく中で、問題点が生まれたこと、雑がみを出す人の気持ちを考えて改善したことをまとめています。

良い作例 作文編

金賞

作文小学生部門金賞 2023年度 受賞作品



普段から紙リサイクルを行っているからこそ見えてくる問題点が挙げられ、熱心に活動している中で悩んでいる様子がよく表現されています。

自分が日常的におこなっていること、感じていることを書き留めることで、紙リサイクルは当たり前の活動であることと提示しています。

紙リサイクルについて考える

小学六年生

僕の住んでいる地区では、毎週二回、市と子供会の紙資源回収が行われている。必然的に僕の家では、紙を分別する作業は日常となっている。

お菓子などが入った箱を広げて解体したり、学校から持ち帰ったプリントや父や母の仕事の書類の個人情報を取り取って雑がみ入れに入れたりするの家族みんな手慣れているので、今では何の苦もない。

しかし、時々厄介なものに出くわす。

その一、セロハン窓付きの封筒。

その二、梱包の際に透明テープでぐるぐる巻きにされた厚紙や段ボール。

その三、フィルムでコーティングされた紙。

その四、一見紙に見えて紙ではないシート。

一と二は、はがすのがとても面倒くさい。

一に関してはすでに分別不要な窓封筒が流通しているのに、未だにセロハン窓を使うのはナンセンスだと思う。二は海外から送られてくるものに多いが、そもそもそんなに巻く必要がどこにあるのか。三は、教育教材のダイレクトメールや化粧品などに多く、手では破れないほど丈夫だが、このままでリサイクルできないため、何度か全てはがしてやろうと試みたが、キレイにはがすことができず、ゴミとして出さざるを得なかった。四に関しては見分けがつか

ないこともあり、迷った時は、大人に聞くようにしている。

リサイクルへの取り組みは、各家庭や学校、職場などで地道に行うものと思われがちだが、僕はそれ以前に、紙を使う側、つまりどんな紙をどんな用途で適正に選んで製品にするかに問題があると考える。

コストや見栄えも大事だろうが、リサイクルを前提として使用しなければ、全く効率が良くない。地球の未来を考えると、国や自治体、企業を含めた社会全体で協力し合い、しっかり取り組みことが大切だと思う。

紙を再生するために使用する水の量や薬品、二酸化炭素の排出量の観点から、リサイクルに否定的な意見も目にしたことがある。これが実際のところどうなのかというところはこれから僕も勉強してみたいと思う。

資源回収置き場に集められた古紙を見ると出してはいけなさとされているひどく油がしみこみよごれたビザの箱や、洗剤の箱が出されていたり、別々にひもで束ねるべき段ボール、雑がみ、牛乳パックを、一緒に紙袋に押し込んで出されたりしていることがある。それらを見ると僕たちにはまだまだたくさんあるように思える。一人一人の意識を持続可能なものにするために僕に何ができるかじっくり考えてみようと思う。

正しくリサイクルできる紙、できない紙を理解し、知ってもらうこと、自分でできることは何か、これからの活動へのステップへ進む様子が、未来にも続いていくことが期待されます。

紙リサイクルをする事も大切ですが、それ以前に、製品化する側の紙の選び方や協力を呼び掛けていることで、リサイクルしやすい社会を目指す事が明示されています。

金賞

作文中学生部門金賞 2023年度 受賞作品



紙との身近な関係性に対して、分別する時に気にしなかったことやきちんとリサイクルできていないことを認識しています。

何が起きたか、冒頭に書き出すことで印象深くなっています。

我が家の紙リサイクル

中学三年生

「雑紙は、燃やすごみじゃないよ」と書かれた、見慣れない紙袋が我が家に来ました。私の住む市で新たに配布された、お試し雑がみ分別用袋です。

私たちの生活は、紙とても密接に関わっています。朝、新聞を読んだり、牛乳やパック入りジュースを飲んだりします。新聞には、沢山の広告も挟まっています。学校では、プリントや教科書、ノートなど。自宅には、手紙や葉書、段ボールに入った荷物が届きます。

雑がみ分別用袋が配布されたことで、今までは気にすることの少なかった身の回りの紙について考えるきっかけとなりました。何故なら、雑がみ分別用袋には子どもでも分かるようにイラスト付きで「雑がみ」とするものが書いてあるからです。また、本当は生まれ変わる予定だった資源が、燃えるごみとして出されていることについて、持続可能な社会づくりが出来ないと思われました。贈り物の包装紙や書店の紙袋。今までそのまま畳んで雑がみとしていましたが、テープやシールなどのプラスチック製品や粘着物は燃やすごみになります。上記を剥がした後、畳んで雑がみに出すのが正解です。日々沢山たまるレシートは雑がみにはなりません。特殊な加工がされているため、生まれ変われないのです。雑がみに出すことをためらって

きたトイレットペーパーの芯や遊んだ後の折り紙も雑がみです。

そんな点に注意し、市のサイトで雑がみなのか、段ボールなのかを調べ、リサイクルステーションへ週に一回送り届けるようになりました。

今までは古紙としてステーションへ行くのは新聞紙が圧倒的に多かったです。雑がみは少なく、ほとんど無い時もありました。紙の分別生活を始めてからは、新聞紙と同じくらいステーションへ送り届けました。

あの雑がみ分別用袋との出会いで、我が家から出る燃えるごみは減りました。代わりに古紙としてリサイクルステーションへ行く、生まれ変わる紙類は増えました。私たちにとって、紙が身近なものであり、必要なものであるならば、普段の生活の中に当たり前なこととして古紙の分別をし、ステーションへ届ける。そして、トイレットペーパーなどを購入するときには再生紙使用マークやグリーンマークを探して、それらを積極的に選びたいと思います。個人のモラルや考え方もしれませんが、燃えるごみの袋の中には紙やプラスチック容器包装のものが沢山入っていると聞きます。同じように袋に入れるのなら、リサイクルステーション行きの袋か箱を一つ作り、週に一回が大変なら二週か月に一回持って行く同志が増えてくれれば嬉しいです。

リサイクルを意識することで、雑がみの出し方、紙製品の選び方を考えて、行動する人が増えることを願っている様子が評価されました。

冒頭の分別用袋をきっかけに、注意することや種類を意識してリサイクルできるようになっています。

作文づくりのポイント

書き始めを考えましょう

興味関心を持ったキッカケを提示すると、この作文を読んでみたいと思ってもらえる大きな要素となりえます。

話題を絞り込みましょう

作文にする話題は、分解させずに、絞れば絞ったほど読んでもらえます。

ドラマチックになる部分を詳しく書きましょう

説明は必要最小限にして、その話題のメインとなるドラマの部分をより詳しく書くと、文章に厚みが出ます。

起承転結を作りましょう

- 起** これから書く作文の前提を説明し
- 承** ポイントとなる出来事を登場させ
- 転** それがどう展開していったかを書き
- 結** 最終的にどうなったかの結論で締める

できれば“転”は読み手を驚かせる展開にすると面白くなります。文章量の目安は、起承転結を1:4:4:1とするとバランスが良いとされています。

注目してもらおう書き方に工夫しましょう

説明から始めるのではなく「あれ？」という驚きを持たせたり、「おもしろそう！」と思わせる書き方をします。例えば、いきなり会話で書き始めてもいいでしょう。

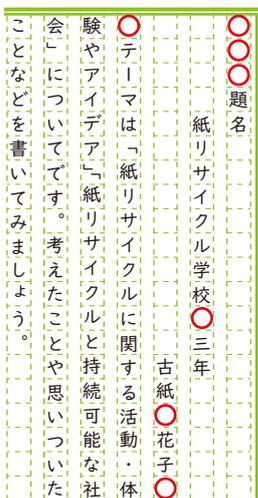
書き終わりの文章を工夫しましょう

作文は出だしと締めくくりが大切です。中でも締めくくり、書き終わりは印象深く書くように意識しましょう。最も悩んで時間をかけていい部分です。

自分の思いや考え、本音を書きましょう

作者である子どもたちが、喜怒哀楽の本音を出すことで、読む人の心をつかみます。

原稿用紙の書き方



一行目には2マス～3マス空けて題名を書きます。
二行目に学校名、学年、名前を書きます。
書ききれないときは三行目に名前を書いてもいいです。
名前は1マス空けてください。
本文は1マス空けてから書き始めてください。

- ・原稿用紙はホチキスで止めてください。
- ・裏には応募票を必ず貼り付けてください。





文部科学大臣賞 2023 年度 受賞作品



紙資源 ～おかえり『ただいま』～
中学3年生



古紙回収に出した紙と、それに関わる人々の関係、
新たな紙製品として生まれ変わっている様子と、古紙に
語りかけているキャッチコピーがあたたかい印象です。

最優秀
作品

文部科学大臣賞 2022年度 受賞作品



地域みんなでき古紙回収！
中学1年生



古紙回収の様子がていねいに描かれていること、テーマの核心となる「地域の活動が古紙を守ることに繋がっている」を表現している様子が高く評価されました。

最優秀
作品

文部科学大臣賞 2021年度 受賞作品



資源も命のように大切に
小学5年生



「資源」も「赤ちゃん」のように大切にする思いが表現され、とても温かみがあり心優しくなる作品である、と高く評価されました。



ポスター小学生部門
2023年度 金賞作品

未来で花さく 紙のたね

小学4年生



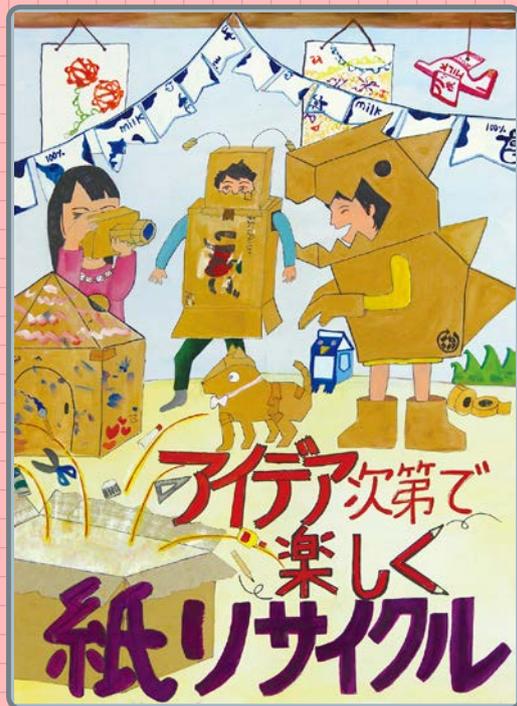
ポスター中学生部門
2023年度 金賞作品

紙リサイクルのしくみ

中学3年生



構図は、
タテ・ヨコ問いません。
画用紙いっぱいに
描くようにしましょう。

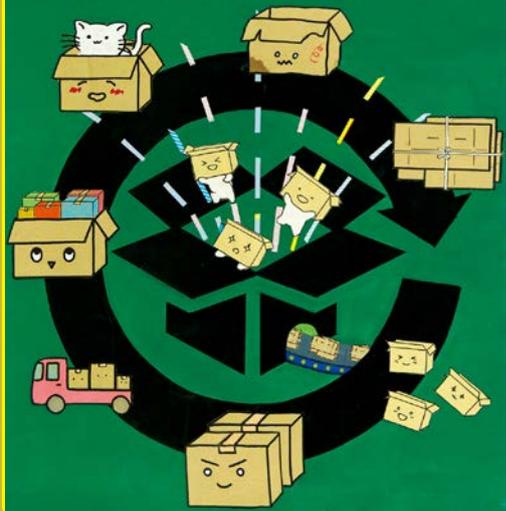


2023年度 小学生部門 銀賞作品

アイデア次第で楽しく“紙リサイクル”

小学6年生

ぼくたちは何度でも、
生まれ変われるんだ！



2023年度 特別金賞作品

紙リサイクルでぼくたちは
何度でも生まれ変われるんだ

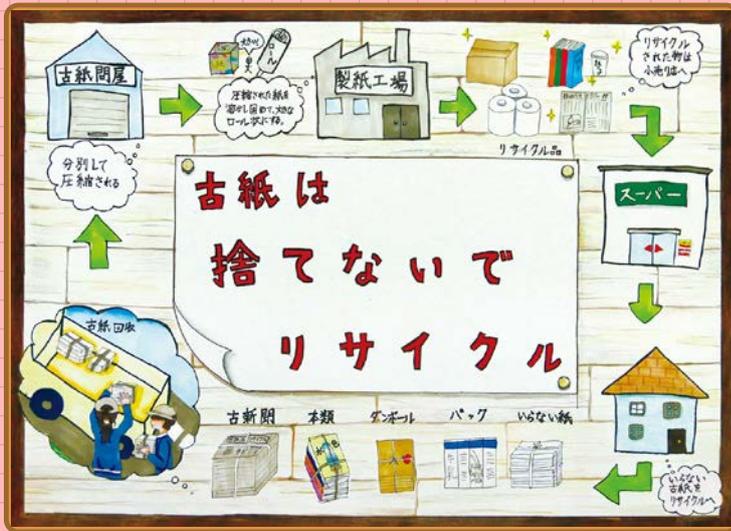
中学2年生



2022年度 小学生部門 銅賞作品

大切な資源を紙リサイクルで新しく

小学4年生



2023年度 小学生部門 銅賞作品

古紙は捨てないでリサイクル

小学5年生



2023年度 中学生部門 銅賞作品

リサイクルでうまれ変わる

中学2年生



2022年度 特別金賞作品

また会おう

小学2年生

良い作例 ポスター編

画用紙規定内のサイズ(四つ切以内)であれば素材は自由です。
これまで画用紙以外の素材を使い、貼り絵などで表現した作品もあり、独創性が評価された作品も多数あります。



ビニールや金銀の紙など、
紙リサイクルできないものは
使わないでね

実際に使われた素材

新聞紙、雑誌の切り抜き、
段ボール、折り紙、厚紙、
牛乳パック…など

画用紙以外の素材を使い、独創性が評価された作品の例



厚紙や新聞紙などリサイクル
できる紙を使用した作品

2023年度 特別金賞作品

かみのまじっく

小学1年生



紙すきをした紙、
厚紙などを使用した作品

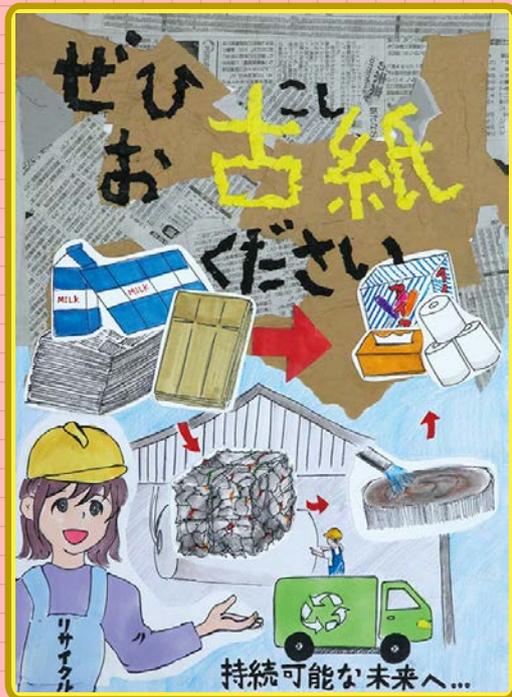
2022年度 小学生部門 銅賞作品

かみをリサイクルしよう

小学1年生

良い作例 ポスター編

画用紙以外の素材を使い、独創性が評価された作品の例



段ボール、新聞紙を使用した作品

2021年度 中学生部門 金賞作品

ぜひお古紙ください。
持続可能な未来へ...

中学2年生



折り紙、新聞紙などを使用した作品

2020年度 中学生部門 金賞作品

古紙から美しい未来へ

中学1年生



段ボールを使用した作品

2019年度 特別金賞作品

紙リサイクルつづけよう!

小学4年生

ポスターづくりのポイント



優秀な作品として選ばれる作品には、下記の要素が大きく関わってきます。

テーマに沿った内容であること

描いた本人の意図が表現されていること

人の心を強く引き付けるメッセージ性があること

キャッチフレーズがしっかりとしていてわかりやすいこと

分別できるもの、できないもの、どの紙がどのような紙製品に生まれ変わるかをきちんと理解し、正しく「紙リサイクル」が描かれているかどうか大きなポイントになります。

下書きのときに、紙の種類やマークを間違えていないか、しっかり見直しておきましょう。

絵やイラストは分かりやすくしましょう

何を意味するのかが分かりやすいような絵やイラストを描きましょう。

文字の位置を工夫しましょう

絵やイラストとの調和を考え、文字とのバランスがとれるような位置に配置するように意識しましょう。

文字は大きく太くはっきり描きましょう

キャッチフレーズは“紙リサイクル”というテーマがはっきりわかるように描きましょう。

キャッチフレーズについて

レタリング（美しく読みやすい字にしたり、文字をデザインすること）をして描くと、よりしっかりとした印象になります。

(例) 紙 → 紙

誤字脱字に気をつけましょう

キャッチフレーズは短いフレーズです。その分、誤字脱字があると、間違いがより目立ってしまいます。

息を吐きながら描くことがきれいに描くコツ

少しずつ息を吐きながら筆を進めていくと、筆先がぶれません。

さまざまな良いポスターを見てみましょう

良い作品を見ることで、新しいアイデアが浮かぶと同時に制作の質も上がります。

裏面でも手を抜かず勝負しましょう

応募票にポスターの意図を書ききれないときは、ポスターの裏面にも書きましょう。

絵やキャッチフレーズで何を伝えたかったのか

テーマを選んだ経緯や意図など

わかるように説明してあると高評価につながります。

文字数の制限はありません。

思ったことを自由に書いてみましょう。

- 〇〇だったらいいな。
 - 〇〇の思いでこのポスターを描きました。
 - みんなで〇〇したらいい、を表現しました。
 - 〇〇している様子を絵で表現しました。
- …など

良くない作例 作文編



ここからは、どのようなことが評価の対象外になるのか「良くない作例」を見ながら理解していきましょう。

応募の前に下記のような表現、認識の間違いがないか注目しましょう。

インターネット等で調べた内容をそのまま書いている作品が見受けられます。調べた事を書くときは、要点だけ書くようにしましょう。

「捨てずに使うこと」は「リユース」になるので審査の対象外になります。

本コンテストは「紙」がテーマです。紙以外のリサイクルは取り上げないで下さい。

たいと思います。

私は、これからも森を守るために、色々なものをリサイクルしていきたいと思っています。

そこで、私が考えたアイデアはきちんとゴミを出すようにゴミ捨て場にポスターを貼ることで、周りの人に意識してほしいと思いました。

リサイクルされた紙は、新聞紙は段ボールに、段ボールはティッシュペーパーに、ティッシュペーパーはトイレットペーパーに生まれ変わります。

プよりも古紙のほうが多く使われています。

切った状態にし、紙の材料になるパルプにします。再生紙は、木材チップよりも古紙のほうが多く使われています。

例えば、児童の人数に置き換えると小学四年生七人分になります。紙を作る材料は、古紙の他に木材が必要です。木材はチップといわれる細かく切った状態にし、紙の材料になるパルプにします。再生紙は、木材チップよりも古紙のほうが多く使われています。

古紙は貴重な資源なので、「ごみ」「捨てる」と表現しないでください。「紙を箱に集めています。」といった表現が望ましいです。

紙リサイクルは紙をごみにすることを防ぐことであって、森林破壊を防ぐことではありません。

どの紙が、どのような紙製品に生まれ変わるか正しく書きましょう。

新聞紙→

新聞紙や週刊誌、印刷用紙など

段ボール→

段ボール箱、紙箱など

ティッシュペーパー→

リサイクルできません。

商品名、企業名など特定の名称は入れないようにしましょう。

レシート(感熱紙)は、リサイクルできません。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

私が思うリサイクル

今、取り込んでいるリサイクル活動は、飲み終わった〇〇ジュースの

ペットボトルを洗い、ラベルを剥がしてペットボトル、プラスチックに

分別していることです。お母さんが料理で使った缶詰もリサイクルしま

す。お買い物でもらったレシートもリサイクルに出します。

新聞紙は雑中の代わりに使います。紙ごみの箱に捨てて集めています。

良くない作例 作文編

紙リサイクルの目的は、使い終わった資源を再利用することです。
森林を守ることが目的ではありません。
「紙リサイクル」の意味をもう一度考えてみましょう。

「ゴミを出さない」ことは
「リデュース」です。

汚れがついた紙は
リサイクルできません。

紙は貴重な資源なので、「ゴミ」
「捨てる」と表現しないでください。
「古紙回収に出しています。」と
いった表現が望ましいです。

僕のゴミ出し運動

僕は毎週日曜日の朝、父と一緒に自治体の紙ゴミ回収場所に、家で集めた紙ゴミを出しに行くことが習慣になっている。

いつも牛乳をたくさん飲むので、牛乳パックのゴミもたくさん出るし、父が読み終わった新聞、雑誌も全部まとめて紐にくくって出しに行くから、父が持ちきれない分は僕が持って行くのが当たり前になっている。

この前は、家族で出前のピザを頼んだので、そのピザの箱もまとめて出した。いつもよりたくさんの量のゴミを捨てることができ、達成感でいっぱいだった。

僕は折り紙が好きで、よく遊んだり飾ったりした後は紙リサイクルに出すようにしている。金銀の折り紙も遊んだあとはリサイクル箱へ。他にも、お菓子のおまけについているキラキラしたシールも貼って遊んだあとはリサイクル箱に出している。

たまに母がもらってくる紙袋で、持っところの紐が丈夫なものがある。「これはお宝だ」と言っていて、使い終わった紙をたくさん入れて、そのまま回収場所に持って行くことができる。僕も、重い古紙を運ぶときに、丈夫で子どもでも持ち運びしやすい回収袋があったらいいなと思った。

たくさん紙リサイクルをすることによって、木をたくさん切り倒して森林が伐採、破壊されなくていいなと思う。森に住む動物たちの命も守れると感じた。毎週日曜日の回収も、もっとたくさん出してリサイクルできるように、使い終わった紙は、全部回収場所に出したり、なるべくゴミを増やさないために、できるだけ紙を使わないようにして、僕も紙リサイクルの輪にたくさん貢献したいと思う。

金銀の紙はリサイクルできません。
シールもキラキラしているものやビニール
でできているものはリサイクルできません。

紙袋でも、取っ手が紙製ではないものは切り取って分別してください。
そのままリサイクルに出さないようにしましょう。

リサイクルに出すときは、紙の種類ごとに分別して出す必要があります。
まとめて出すことは正しくありません。



良くない作例 ポスター編

「紙」に関することがまったく描かれていないと、どんなに力作であっても、審査の対象外となります。また、画面いっぱいの色を塗るなど、何もしていないところがないように、しっかり描いてみましょう。



ていねいにレタリングされていても、テーマがずれていると審査の対象外になります。下書きの時にしっかり見直してみましょう。



塗り残しなどがないように、なるべくていねいな作品づくりを心がけましょう。

「リサイクル」という大きなくくりではなく、「紙」に絞ったリサイクルについて表現しましょう。

紙リサイクルは紙をごみにすることを防ぐことであって、森林破壊を防ぐことではありません（紙を作ることは森林破壊につながりません）。

これらをふまえて
より良い作品づくりに
取り組みましょう。



応募にむけて

ここまで、紙リサイクルの仕組み、作品づくりのポイントをおさえてきました。紙リサイクルについて正しく理解した上で、最後に応募規定とあわせて要点を振り返り、コンテストへ応募してみましよう！

✓ チェック

「リデュース」や「リユース」、
「森(木)の循環、保護」などと
混同していませんか？



作文もポスターも
作品の裏面に
応募票を必ず貼ってね！

特定の個人名、団体名、
企業名を入れていませんか？

他の作品や生成 AI などを流用したと
思われる内容ではありませんか？

応募前に応募規定をチェックしましょう！

作文部門

- 原稿用紙 400 字詰 3 枚程度 (1,200 字以内)
- 本文の前に「題名」「学校名、学年」「名前」を記入してください。
- 生成 AI 等を使用して文章を写した作品は応募できません。



ポスター部門

- 画用紙サイズが規定内である。(四つ切 (39.5cm×54.5cm) 以内)
- 立体は不可。(古紙などを使用した貼り絵、切り絵の表現は可とする。)
- 応募票にポスターの意図を記入すること。書ききれない場合は裏面に書いてください。

※ 共同制作、合作は審査の対象外になります。

※ 1人で複数の作品に応募する場合は、「作品名」で違いを明確にしてください。

当センターのホームページでは、この「応募の手引き」の他に、過去の受賞作品などの参考資料、紙リサイクルについてのコンテンツを用意しています。ぜひご覧いただき、家庭での取り組みにご活用ください。



古紙再生促進センター 紙リサイクルコンテストページ

http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

紙リサイクルコンテスト

検索

スマートフォンからも
ご覧いただけます



◇審査基準

- 1) 応募規定に沿っていること。
- 2) 紙リサイクルの大切さを自分の言葉や絵画で他者に伝え、環境にやさしい社会を目指そうという意識や行動を高めていこうという内容の作品であること。
- 3) 応募作品は本人のもので、未発表のものであること（共同制作は認めない）。
- 4) 特定の個人名、団体名、企業名、商品名を入れたものではないこと。
- 5) より具体的には、以下の観点を基準とする。

（審査観点）

① 理解力

- ・紙リサイクルについて正しく理解し、テーマに沿って文章や絵で表現されているか。
（「リデュース」や「リユース」、「森（木）の循環」などと混合していないか）

② 独創性

- ・発想が自由で、豊かな感性が表現された作品であるか。
- ・他の作品などを流用したと思われる内容ではないか。

③ 表現力

（作文）

- ・構成が工夫されており、表現したいことが丁寧でわかりやすく書かれているか。
- ・自分の考えや思いがよく伝わるものであるか。

（ポスター）

- ・構図が工夫されており、表現したいことが丁寧でわかりやすく描かれているか。
- ・ポスターとして、人の心（注意）を強く引きつけるメッセージ性のあるものであるか。

④その他

- ・作品は小学校低学年（1・2・3年）、高学年（4・5・6年）、中学校の3区分に分けて審査する。（小学校1年生と6年生を同じ基準で審査しない）

応募に関する問い合わせ先

〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-4 浜松町昭栄ビル4F
『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』事務局（CISC内）
TEL.03-5777-1322 / FAX.03-3432-4044



企画・編集・発行

公益財団法人 古紙再生促進センター

TEL.03-3537-6822 FAX.03-3537-6823 <http://www.prpc.or.jp>

2024.6